

令和5年度 第1回定例理事会議事録

公益財団法人東京都公園協会

1 開催日時 令和5年6月6日(火) 15時から16時41分

2 開催場所 東京都公園協会本社10階A・B会議室及びweb会議

3 出席者 理事総数 12名
出席理事 9名(代表理事を含む)

理事長	矢岡 俊樹	常務理事	前川 真一郎
常務理事	植村 敦子	理事	井手 久登
理事	進士 五十八	理事	関根 正人
理事	高梨 雅明	理事	谷川 真理
理事	松川 淳子		

監事総数 2名

出席監事 2名

監事	島 博文	監事	斉藤 有
----	------	----	------

4 議長 理事長 矢岡 俊樹

5 決議事項 第1号議案 「令和4年度 事業報告(案)」の承認について
第2号議案 「令和4年度 決算(案)」の承認について
第3号議案 東京都都市緑化基金運用委員会委員の選任について
第4号議案 評議員候補者の評議員選定委員会への推薦について
第5号議案 令和5年度定時評議員会の開催について

6 報告事項 (1) 常勤理事の職務執行状況報告について
(2) 東京都都市公園制度制定150周年記念事業について

7 議事の経過の要領及びその結果

出席予定者が揃ったため定刻に鈴木総務課長(以下「事務局」という。)が開会を宣

言。新しく就任した理事長及び理事並びに監事の紹介を行い、矢岡理事長が開会に当たっての挨拶を行った。

議事にあたり、事務局が定款第 40 条に基づき、代表理事である矢岡理事長が議長となる旨を宣べ、議事を開始した。

議長は、理事会の成立について事務局に報告を求めた。事務局は、理事会規則第 7 条に定める理事出席数を満たしているため、本理事会が有効に成立した旨を報告した。

議長は、議事録署名人について、事務局に説明を指示した。事務局は、定款第 44 条第 2 項に基づき、矢岡理事長、前川常務理事、島監事、斉藤監事の 4 名が議事録署名人となる旨を説明した。

(1) 第 1 号議案 「令和 4 年度 事業報告 (案)」の承認について

(2) 第 2 号議案 「令和 4 年度 決算 (案)」の承認について

議長は、上記議案について関連があるため一括審議とし、事務局に説明を指示した。

鹿田総務部長より第 1 号議案及び第 2 号議案の説明がなされた。説明後、下記のとおり質疑応答、意見があった。

【松川理事】多磨霊園より車で 10 分程度の場所に居住している。木も花もきれいで気持ち良いところである。家族も多磨霊園に眠っている。先日知人と多磨霊園へ参ったが、霊園の端は昼間でも人が居ない。空いているときは女性一人では怖い気がした。警備などはどのようになっているか。

また、人材育成の資格取得について記載があるが、資料の写真には女性がいらない。女性はいるのか。男女比はどのようになっているか。

【久間公園事業部長】多磨霊園について、お彼岸等の多客期以外は来園者が少なく、霊園の端については不安があるとのことだが、毎日広い園内を警備員が巡回している。多磨霊園は石材業者との連携もある。石材店は花の取換、清掃などで常に出入りがあり、有事の際は業者よりすぐ連絡がはいる。また、職員が巡回しており、不安のないよう対応している。

【鹿田総務部長】人材育成について、男女比は手元にデータが無いが、公園管理運営士 156 名のうち半数は女性。防災士についても半数弱女性である。2023 年度事業のあらまし P25 の写真はたまたま女性が写っていない。

【久間公園事業部長】まちなか緑化士は外部の方のための人材育成である。受講者は造園業界の方が多い。

【松川理事】街で花を植えるのは女性が多いが、資格取得にはなぜ来ないのかと思った。

【鹿田総務部長】先ほどの説明は公園協会内の人数である。

【久間公園事業部長】まちなか緑化については、街の緑に関心をもってもらうための取組。造園業界の方の受講率が高く、男性の比率が高いが、必ずしも女性がいなわけではない。

【松川理事】仕組みづくりには男性が多く、実施するのは女性が多いのか。

【久間公園事業部長】そうとも言えないが受講者は男性の比率が高い。

【井手理事】重点事項7文化財庭園について。本来は東京都に聞くべきことかもしれないが、「(文化財保存管理計画から)文化財庭園の保存、活用計画」に名前が変わったが、全て計画が出来ているのか。計画が出来ているとすれば、その中に協会の専門スタッフが関与して作成されているのか。会議で策定しているのか。全く協会職員は関与しなかったのか。

【高橋事業調整担当部長】9庭園のうち7庭園は保存活用計画の見直しができています。残る旧岩崎邸庭園、清澄庭園のうち、旧岩崎邸庭園については改定作業中、清澄庭園については、見直しは入っていないと聞いている。改定作業に協会の職員が直接関わっているという話は聞いていないため、都に確認する。

【井手理事】都で人選し、協会の意見を反映するというような事は間接的にあっても、直接はないのか。

【高橋事業調整担当部長】そう聞いている。

【井手理事】保存管理計画が最初にあり、それを活用計画に変えたわけだが、管理から活用に用語が変わっただけでなく、内容がかなり大きく変化してきている。様々な、インバウンド等の影響を受け、今までの管理から活用に変わっただけでなく、利用促進が非常に強くなってきている。表向きは文化財庭園では絶対に駄目だが、営利的な部分が入ってくる可能性がかなり高い。文化財の価値の中で、ある程度活用を高めるのはもちろんよいが、それをかなり逸脱するようなことがあれば非常にまずい。管理から活用に、言葉だけではなく内容的にも、協会の方で把握している問題など、現時点何か懸念していることがあれば聞きたい。

【高橋事業調整担当部長】現時点において懸念はない。

【久間公園事業部長】追加の情報として、協会職員も改定メンバーに入っており、提言も行っている。提言の中には、イベントで文化財庭園を活用することについて、文化財ということ踏まえ、丁寧な対応をしていくという事で話が出ているようである。今後、積極的に使用してもらう、という事ではなく、上手に利用を調整していく事が一番重要だと思っている。

【井手理事】あえて聞いたのは、活用を高めるのは大事であるし、良い事だが、それがオー

バーユースであったり、利益追求に走ってしまうと問題が起こる。その辺の舵取りが非常に大切になってくる。特に文化財庭園の場合はそのような問題があるので、大変気になった。今後も注意して管理運営を行ってほしい。

【矢岡理事長】策定メンバーには協会も入っているので、只今頂いた意見も踏まえ、協会も都とこまめに連絡を取り合い、ご懸念については都に伝える。

【井手理事】私は、他のところでいくつか関与しているが、どうしてもそこでは稼ごうという部分が出てきがちである。それは文化財庭園の本来の歴史的、芸術的な価値が損なわれない範囲でなければならないが、他ではやや懸念があるため気になって伺った。

【進士理事】井手理事の後任で自分が委員長をしている。先ほど公園協会はメンバーとなっていないとの話があったがいつも後ろに居るのに変だと思った。公園協会の人居る、居ない関係なく、七人委員会自身はむしろかなり抑える人ばかりである。私はむしろ進めたいと思っている。どうやって進めていきたいかという、活用についてはもともと文化庁がそのような路線で行ってきっていた。むしろ東京都が文化財庭園のガイド等を実施するなどして確かに活性化してきた。利用者も増加した。しかし一方で、公園協会の努力も大きいと思うが、整備は以前に比べて非常に高い水準で維持管理されて良くなっている。芝離宮などはやはり企業参加（の事業）があるが、あれはどこでやっているのか。公園協会も参画して実施していると認識しているが。

【久間公園事業部長】はい。エリマネです。

【進士理事】周囲の環境整備というか、環境が変化してきたので、そのようなサポーターというのか詳細は知らないが、詳細は分科会になっていたりするため自分は委員長ではあるが、詳細を知らないが、実施しているよね。

【久間公園事業部長】はい。エリアマネジメントの方々と一緒にイベントを実施している。

【進士理事】東京全体が様々な事を実施している。ただ少なくとも自分は、バランスよく実施するように発言しているつもりであるし、文化庁からも教育庁からも確か（委員会に委員が）来ている。であるからバランスよく実施しているのでご安心ください。問題は、ずっとここでも委員会でも発言しているのは、例えばライトアップ。ずっと実施している。あれが今、井手理事が発言されたように、近くて、植物はライトダウンであるべきだとずっと発言している。太陽の光に向かって植物はいい顔しているのに、下からライトアップするっていうのは何だろう、お昼じゃないんだぞといつも嫌味を言っている。公園協会の体制が、それ

ぞれセンター長がいるでしょ、だから、その人によって大いにオリジナリティーがあるのか。コントロールは行っているでしょ。

【久間公園事業部長】 はい。本社で実施しております。

【進士理事】 であるから、若干それが成績主義に行き過ぎないようにすることだと思います。まあ、お土産などいろいろ実施しているから、これは東京都との関係だと思います。公園緑地にしても川にしても全て公的なものを保全活用しているわけで、それに潤沢に予算を配布するか、多少自前で実施するように言うか、そのあたりの財政の扱いもあるのだと思うが、私自身は公園協会のマンパワーは相当厚みがあり、かなり丁寧に実施されているので、むしろ公園協会で行っているからこれだけの営業が出来ていると思う。だから、一般的な指定管理者制度というのは、時々ものによっては、過激なところがあるかもしれないので、私は制度的にもう少し安定するには時間がかかるのだと思うが、少なくとも東京都の公園、文化財庭園はかなり、十分に模範足り得る。文化庁もむしろ、東京で実施したものを全国に一般化しているようであるから。

【井手理事】 進士理事が委員長をなさっている事を知らずに発言してしまったが、進士理事が委員長をされているのであれば安心しました。大変よくわかりました。ありがとうございました。

【高梨理事】 昨年度からの成果が素晴らしいですね。正味財産を6億近く増加させているわけであるから。職員が熱心に業務に取り組んだことによる大きな成果であると思う。心から敬意を申し上げる次第である。公園の経営をしているとどうしても気になるのが桜の開花時期である。今年は年度前に開花した。その影響をどうしても受けてしまう。経営にあたって年度を跨いだ形で様々なイベントが行われ、それにより収入が大きく変わったりする。そこで単純に利益が多かったからどうのと評価すべきではないとは思いますが、この数字はなかなかのものかと思う。桜が年度内に咲いた場合と翌年度になった場合とではどの程度影響を受けるのか、分析をしたことがあれば知りたい。

【鹿田総務部長】 桜の開花が3月か4月かでは大きく影響する。正確な数字は無いが、協会内で経営上の管理目標を設け、事業の進捗管理を実施しているが、暦年の1月から12月で数字を算出し、桜の開花が3月か4月かで影響がないように進行管理している。しかし、決算上はどうしても差が出る為、事業運転資金という形で当年度に桜が一度も咲かない等、万が一の事態に備えている。今年についてはライトアップ等イベントを企画していたが、それ

以前に開花してしまった。また、開花後の土日が悪天候であったのも影響して、期待していた程収益を上げることは出来なかったが、来客はそれなりにあった。今年の収益が上がったのは桜だけではなく、コロナによる制約を受けていた世の中が、コロナ終息に向かう状況の中で抑えられてたものが出てきたということがある。3月、2月以降はかなり顕著であり、水上バスや公園、庭園に多く来客があったことによるもの。この決算とは関連しないが、年度が替わったゴールデンウィークにも多くの来客があった。そのあたりが今年度大きく影響してくるだろうと期待しているところである。

【高梨理事】年度のくくりだけではなく、税法上の課税対象期間の両方でみており、また利用の変動等を細かく分析しながら必要な対策を講じて業務を実施しているのがよく分かった。引き続き適正な業務執行に努める事を期待する。

【谷川理事】説明ありがとうございます。毎回、協会の活動は多岐にわたっており、感激する。私は走っている関係上、ランニングやウォーキングのイベントに興味があるが、P37に記載がされている、砧公園で実施したクロカンイベントについて、砧公園は芝生が多く、アップダウンもある走りやすい公園であり、子供たちにも楽しんでもらえてうれしく思った。また、代々木公園で実施されたオンラインのマイクロレースの参加人数と今後の開催予定を知りたい。コロナ期間中はオンラインマラソンイベントが多々実施されたが、例えば「ランナー」という雑誌で「ラン&ウォーク」というイベントがあり、2か月～3か月の期間にランニングまたはウォーキングの距離を競うものだった。参加者は負けず嫌いの方が結構いらっしゃるので、例えば該当のアプリをダウンロードし、その日1日で2キロ歩く。次の日は10キロ歩く等、順位が日々変動する。それを参加者で競争する。順位が上がったり下がったりする事で参加者は励みになる。普段運動をしない友人を誘ったところ、犬の散歩等で1日に2回も3回もウォーキングを実施し、自分はランニングを実施しているが、ランニング以上の距離を歩いた。そのような例を踏まえて、例えば代々木公園や舎人公園等の大型公園で、「春のラン&ウォーク大会」のようなイベントのアプリを作成し、参加者で競うという事を実施できれば、1人でウォーキングするよりも励みになり楽しめるのではと思ったので提案する。

【久間公園事業部長】 いつも公園を利用くださりありがとうございます。コロナ禍でランニングする方が増え、オンラインレースも増えたと聞いている。代々木公園で実施したオンラインマイクロレースについては、4月21日～5月20日の1か月間、ニューバランスと

一般社団法人渋谷未来デザインの協力で実施した。新しいアプリ「Strava」を利用し、参加者には登録してもらった。毎日順位が入れ替わり、競争意識が高まるソフトになっているようだ。記録登録者は202人、タイムのアップロードは872回、おおよそ1人平均4回、毎週1回アップロードし、競争してもらったと聞いている。今後もそのような協力、協賛企業を探しながら継続していきたい。今年度も代々木公園で検討している。また、協会独自のアプリにTOKYO PARKS PLAYがあるが、その中にもウォーキングコンテンツがあり、活用いただいている。TOKYO PARKS PLAYの参加者数データは今すぐにご紹介できないが、今後、コロナ終息後も進めていきたいと考えている。

【谷川理事】参加人数が少数であっても継続する事で広がっていくので是非継続してほしい。

説明後、議長が賛否を諮ったところ、満場異議なく賛成したため、承認を決議した

(3) 第3号議案 東京都都市緑化基金運用委員会委員の選任について

議長は、上記議案についての説明を指示し、鹿田総務部長より議案の説明がなされた。説明後、議長が賛否を諮ったところ、満場異議なく賛成したため、承認を決議した。

(4) 第4号議案 評議員候補者の評議員選定委員会への推薦について

議長は、上記議案についての説明を指示し、鹿田総務部長より議案の説明がなされた。説明後、議長が賛否を諮ったところ、満場異議なく賛成したため、承認を決議した。

(5) 第5号議案 令和5年度定時評議員会の開催について

議長は、上記議案についての説明を指示し、鹿田総務部長より議案の説明がなされた。説明後、議長が賛否を諮ったところ、満場異議なく賛成したため、承認を決議した。

(5) 第6号議案 「令和4年度評議員会の決議の省略（第3回）の開催」について

議長は、上記議案についての説明を指示し、鹿田総務部長より議案の説明がなされた。説明後、議長が賛否を諮ったところ、満場異議なく賛成したため、承認を決議した。

8 報告事項

(1) 常勤理事の職務執行状況報告について

議長は、上記報告事項の説明を指示し、鹿田総務部長が説明を行った。

(2) 東京都都市公園制度制定 150 周年記念事業について

議長は、上記報告事項の説明を指示し、久間公園事業部長が説明を行った。

説明後、議長が意見を徴取したところ、以下のとおり発言があった。

【高梨理事】一言お礼を申し上げたい。国と相談しながら都市公園制度制定 150 周年記念事業を全国的に展開しているところである。特に東京都にも実行委員会に入ってもらっている。それを受けてこのような実体的な取組を実施してもらい心から感謝とお礼を申し上げたい。ありがとうございます。今年もまだ半年残っている。様々な企画が全国で展開されると思う。よろしくお願いします。

9 その他

議長は、全体を通して意見を徴取したところ、以下のとおり質疑応答、意見があった。

【谷川理事】5月20日21日に代々木公園でタイフェスティバルが開催され、トークショーを行った。その際、代々木公園長に来てもらった。ありがとうございました。また、個人的な話ではあるが、両親が高齢になり、入院をしている。コロナ禍で出来なかった外出が出来るようになり、車椅子で上野公園へ行った。上野公園はもちろんバリアフリーだが、犬を連れて入れる休憩施設は外になってしまう。上野公園ではエブリワンズカフェがあるが、高齢になると体温調節が難しく、(愛犬同伴で利用できる)外の席では寒さを感じてしまう。本当にごく少数ではあるかとは思いますが、バリアフリーで犬を同伴でき、室内で、おいしい食事をみんなで食べられるというエリアがあったら本当にありがたいと思った。そのような場所は非常に限られており、インターネット検索をしても少ない。近頃は愛犬家も増えており、ホテル等でもわんわんパラダイス等あり、犬同伴可能なレストランもあるので、上野グリーンサロン等で、小型犬までなら室内に同伴可能など、エリアが出来たらありがたいと思う。

【鹿田総務部長】ご意見いただきありがとうございます。確かに盲導犬であれば入店可能な対応をしているが、一般的な犬の場合、最近は犬同伴の方が多いので、今すぐに対応は難しいが、ドッグランについて検討をしており、東京都への提言も行っている。実現することが出来るか現時点ではわからないが、ドッグランの改革をしていく中で、犬同伴で入店可能なカフェを併設する、また犬同伴で屋内スペースを利用できるなど、検討を進めている。今すぐ実現できるか不明ではあるが、谷川理事のご意見を参考に、今後の事業展開を検討していきたい。

【進士理事】新理事長誕生であるので、感じたことを述べる。先ほど谷川理事がクロカンと発言した。クロカンとは何かと思ったがクロスカントリーであった。また、芋の名月、栗の名月とは初めて聞いたが何か。

【久間公園事業部長】名月をテーマにした取組。向島百花園及び浜離宮で実施している。

【進士理事】言葉が沢山出てくる。マスコットや商品。それは多様であるし、盛り上がるし、職員の活性化や発想の転換にもなるので良いと思う。一番大切なのは事業報告の12の重点事項があるが、先ほどの神代と文化財は掲載されているがそれ以外はどうか、重点事項5はお客様サービスであり、重点事項8は使用者となっている。これは心憎いばかりの配慮だと思った。霊園はお客様と言われても自分はあまりうれしくない。ただ、多摩霊園のパンフレットが入っていたが、何が言いたいかというと、全体をどう考えるか。重点事項にみんなな形容詞が付く。霊園や葬儀所の運営というのは井下清さんがはじめて、正に東京だけである。他の地方は衛生局の管轄。霊園葬儀所の運営は人間の尊厳を強く考えたからである。このような価値観を持ったことを東京都は自慢すべきだと思う。それは、震災があり、ちょうど百年前の震災で大勢の方が亡くなり、戦災でも亡くなり、公園がその遺体処理まで管理した歴史があるからである。しかし、私は、その精神は今の方にも大事な事だと思う。まあ、使用者に寄り添ったというのは、遺族ぐらいではあるとは思いますが、霊園で言うと多摩霊園のパンフレットが観光案内というか、東郷平八郎のありようや、それはそれでいい、ものすごく分厚いファンが居る。地方でも〇〇藩士の墓など各県ある。ただ現在の都民はどう考えるのか。私は、親の寺が京都にあるのが、長男ではないので入れないかもしれない。余計な事を申したのは、宮本常一さんという民俗学者が自分の街が本当の故郷になるには、そこに墓所があるかどうか、つまり亡くなった後にもそこに居られるかどうかだと言っている。そういう意味でも大都市にも墓園が必要だ。多摩霊園もそうであるし、ずっと以前から寺院墓地

があったこともそうである。そこまで考えると多磨霊園に入れるのかどうか、とかね。

現在の場合はどこで火葬するか、という話から葬儀屋になってしまう。日常的に死というものは、普通の元気な都民には関係がない話になってしまう。しかし、私は大変大切な事だと思っている。東京が本当に自分の街だと思い、都民がずっと居るのであったら。そういう事を議論する。防災の問題も非常に重要であるし、利用者促進としては、私の個人的な造園家としての生き方として、量を増やす事ばかりをやっていた。面積1人あたり何㎡、なので造成が最も大事であり、トップにくる。水辺と緑地の造成もそうでしょ。だから「新たなニーズに応える魅力的な」という形容詞がついた。これは歴史的発展である。昔は量だけ提供していたが、本当にニーズに答えているか、魅力的な公園にしなければいけないという、深読みするとすごくよく出来ている。ただ、一般の人はどこまでこれが分かるか。次の問題は、公園行政や水辺の行政だけではなく、公園協会の職員誰でもが「住みよい地域づくり」と言わなければならないということ。災害対応力の向上については、方針にも記載されている。防災は日本国中一番大切で東京都が一番危ない。(資料の)最後の「情報発信」や「生態系の保全」などと同様に非常にロジカルな文章にしておくプライオリティもわかる。そのような整理を一度皆さん幹部で議論されると理事会として良いテーマではないかと思った。理事会ではそういう事を言わないと、細かい事を指摘してもみんな一生懸命やっているのだから、だいたいクリアしている。いい事を行っているのだから。ただここでボードメンバーが言うべきことは、(事業)体系とそのプライオリティについて5~6年の短期~中期で考えること。さきほど話した「人間の生命の尊厳までを考える」というようなことは、ほとんど理念に近く、「公園協会の事業は全て一貫してそのような三つの原則を大切にしよう」というような、都民ファーストとはたぶんそうでしょうね。そのような構造をやるとすごくわかりやすい。それぞれの部門が、例えば「うえのん」がいいのか、「上野さん」がいいのか、そういうディテールまで、その構造が分かっていると非常に明確になる。そうではなく、思い付きやアイデアとしてやっていると、面白い面白いと言っても、パンフレットはすべて見たが、右綴じと左綴じはバラバラであるし、紙質も全て違う。そろそろもう少し深い話、生命の尊厳みたいな話等を、議論すると公園は都民にとって最も重要な組織になるかもしれない。以上、新理事長に捧げます。

【矢岡理事長】ありがとうございます。先ほど少しお話しましたが、これまでは土木職の理事長が多かったが、私は事務職である。そういう意味でまた違った視点で、またいろいろな

ことを、協会内でも議論できればいいと思います。ご意見はありがたく頂戴し、我々も参考にしたいと思います。

以上

16時41分終了

前記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、代表理事及び監事が記名押印する。

令和5年6月6日（火）

公益財団法人東京都公園協会

議事録作成者兼

議長 代表理事（理事長） 押印

矢岡 俊樹

代表理事（常務理事） 押印

前川 真一郎

監事 押印

島 博文

押印

斉藤 有